

高山地区の棚田等の資源の保全・活用を考える会(仮)発起人

## 高山地区の棚田等の資源の保全・活用を考える会（仮）の 趣旨に対するご理解とご参加のお願い

### 高山地区の棚田等の資源の保全・活用を考える会(仮)の立上げについて

高山地区の棚田等の資源は、日頃より地域の方々、及び様々な活動団体の活動のもと管理され、今までその素晴らしい景観を維持してきました。しかしながら、耕作放棄地の増加が進行していること、あるいはその放棄地改善のために活動する組織の高齢化や人手不足が深刻化していることが、喫緊の課題となっています。このような高山地区の現状を懸念する数名が発起人となり、「高山地区の棚田等の資源の保全・活用を考える会（仮）」を立ち上げました。

### 高山地区の棚田等の資源の保全・活用を考える会(仮)を通して地域としての共通の方向性の検討

前述でお示したような課題がある一方で、高山地区の棚田等の資源に魅力を感じる若いファンが増えつつあり、今後は今までの活動組織だけでなく、新しい高山地区のファンの方も加えながら地域づくりを行っていく必要があると感じています。既存活動団体のこれまでの活動を尊重しつつ、若い世代の参画も促し、共通の大きな方向性に向かって活動に取り組んでいけるよう、その方向性を見出したいと思っています。

### 豊能町・enocoの支援によるワークショップの開催と各者からの意見抽出

高山地区の棚田等の資源の保全・活用を考える会(仮)は、高山地区で棚田の保全・活用を行う方々や高山地区の棚田のファンの方々と共に、高山地区の棚田保全・活用を通じた魅力ある地域づくりについて話し合う場をつくりたいという思いがあり、豊能町・enocoの支援<sup>\*</sup>のもと、ワークショップを開催したいと思っています。ワークショップでは、各者から意見を出して頂き、その意見を踏まえて、高山地区における棚田を中心とした資源に対する、管理活用の共通方針をまとめていきたいと考えています。

つきましては、上記ワークショップの開催に対するご理解とご参加を賜りたくお願い申し上げます。

#### **※豊能町・enocoの支援及び発起の経緯**

平成30年5月に実施された「トヨノドリーム」において、NPO法人豊能町ふるさとおこし協議会が応募した「とよの右近アグリパーク」が採択され、その計画づくり等について豊能町及びenocoの支援を受ける事となりました。

ただ、我々としては、この企画をすぐに進めるのではなく、まずは地域の皆様のご意見を尊重し、意見交換をさせていただくためのワークショップを開催させていただきたいと考えました。その際、協議会単体としてではなく、関連する様々な関係者のご意見を公平にまとめるために、「高山地区の棚田等の資源の保全・活用を考える会(仮)」として発起することとしました。

## 大阪府立江之子島文化芸術創造センター (eonco) とは

大阪府立江之子島文化芸術創造センターはアートやデザインなどの創造力で、大阪という都市を元気にすることを目指して2012年4月に開館しました。ギャラリーや多目的ルームのレンタル事業を行うほか、大阪府の美術コレクションの管理と活用、企画展やセミナー・ワークショップなどの自主事業に加え、地方自治体やまちづくり団体の個別相談にも対応するなど、クリエイティブな発想とネットワークで都市や社会が抱える様々な課題の解決に取り組む専門家集団です。

## 記

### 1. 実施の概要

高山地区の棚田を中心にその所有者や利用者が現在抱えている課題の解決方法やこの未来について、ワークショップにおいて議論を行います。

#### [実施時期]

第1回目：10月27日（土）17:00～18:30（予定） 場所 高山公民館

テーマ：高山地区の魅力再発見（あらためて魅力を見つめなおす）

テーマ：今、棚田で活動する(活動したいと思う)上で困っていること

第2回目：未定

テーマ：今後の棚田を中心とした資源の管理活用の方向性について

#### [対象とするエリア]



### 2. 高山地区の棚田等の資源の保全・活用を考える会(仮)担当者

高木 武士（高山在住） 携帯：090-5973-3115

中根 康有（東ときわ台在住） 携帯：090-1244-5392

以上